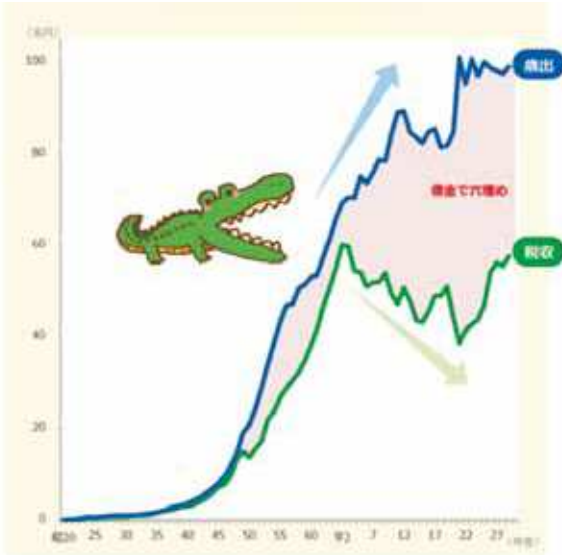


◆ 日本の財政の現状について考えてみよう

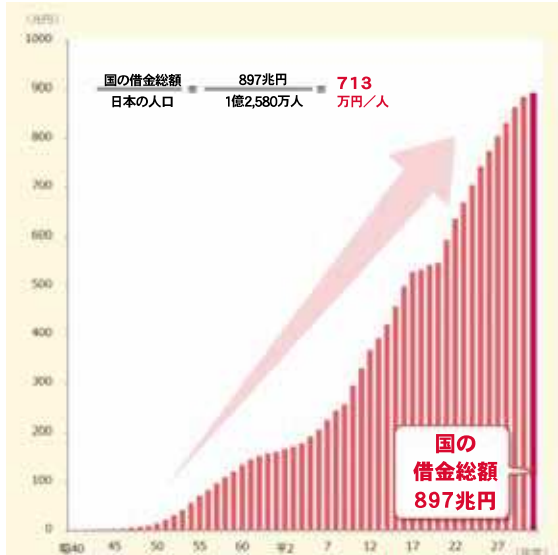
日本では、歳出が税収を上回る深刻な財政赤字が続き、公債（国民などからの借金）の発行残高が年々増加しています。令和元年度の予算では、一般会計歳入の32.2%、金額にして約33兆円を国債の発行による収入に頼っています。

この国債の発行は毎年行われているので、令和元年度末の公債残高は約897兆円にも膨れ上がると見込まれており、将来の国民にとって大きな負担となっています。

歳出と税収の推移



国の借金総額の推移



なんで借金が増えたんだろう？
誰が返すんだろう？



日本の財政を考えよう（財務省 平成30年4月）、我が国の財政事情（平成31年度予算政府案）（財務省主計局平成31年1月）をもとに作成

◆ わたしたちの将来と税について考えてみよう①

財政構造の変化と税負担

平成2年度と令和元年度の国の歳入と歳出の内訳をくらべてみると、歳入では税収がほぼ横ばいであるのに対し、公債が大幅に増加しています。また、歳出では公共事業費や交付税などはほぼ横ばいであるのに対し、社会保障費と国債費は大きく増加しています。

社会保障制度の給付費と保険料の関係を見てみると、給付費は年々大きく増加している一方で、保険料収入は給付費ほど大きな増加は見られません。

足りない部分は税金や公債などの公費で補っていますが、働き手が減少しているため、その負担（多くは借金）が年々増加していくことになります。

財政構造の変化



社会保障給付費の増加



これからの日本のために財政を考える（財務省 平成30年10月）をもとに作成